

ICT実践事例・修正指導案

本時のねらい 聖徳太子が行った政策について、各種資料をもとに自分の考えをまとめ、クラスで交流することを通して、天皇中心の政治を目指していたことを理解することができるようにする。

評価規準 聖徳太子が行った政策について、天皇中心の政治を目指していたことを理解している。

具体的な児童の姿

「能力のある人が活躍した方が国のためになるから冠位十二階は作られた。」「十七条の憲法に『天皇の命令には、必ず従いなさい』とあるから、天皇をとっても高い地位に置きたかった。」「中国に遣隋使を送って、中国の進んだ制度や仏教を取り入れて、国づくりをしようとした。」

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ②評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。	○前時の資料に登場した聖徳太子がどのような人物だったのか想起する。	ロイロノート資料
10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> めあて 聖徳太子はどのようなことをした人物なのか調べよう </div> 2. 十七条の憲法をもとに聖徳太子が行った政策について考え、ノートにまとめ発表する。	○聖徳太子が行った国づくりについて、教科書や資料集から調べ、分かったことをノートに書き、発表させる。 ・聖徳太子の思いや願いが読み取りやすい十七条の憲法を資料として取り扱う	
予想される児童の姿 <ul style="list-style-type: none"> ・協力してくにを治めようとしていた（第1条、第17条など） ・仏教を大切にほしかった（第2条） ・天皇が国の一番上の立場だと示した（第3条） 			
20分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 課題 聖徳太子が行った政策にはどのような思いや願いがあったのだろうか </div> 3. その他の資料から聖徳太子はどのような思いや願いで政策を行ったか考え、話し合う。	○それぞれの政策にはどのような思いや願いがあったのかを調べたことや各種資料をもとに考えるようにする。 ・自分の考えを説明するために、考えの根拠を明らかにできる適切な資料を選び、ペアで伝え合うようにする。 ・必要に応じて資料を示しながら説明するようにし、行った政策が天皇中心の政治とつながっていることをとらえることができるようにする。 ※提示した資料から読み取りが難しい児童には、天皇と役人の関係を図で表したものを提示	資料 

5 分		<p>し理解できるようにする</p> <p>◎聖徳太子が行った政策について，天皇中心の政治を目指していたことを理解することができる。 〈発言分析・記録分析〉</p>
	<p>まとめ</p> <p>聖徳太子はいろいろな政策を行って，天皇を中心とした国づくりを目指した。</p>	
	4. 本時のふり返りを行う。	

R4 思考を深める場面

☆1 人一台端末の使用は効果的であったか

○資料の提示が素早くできるため、学習の時間が確保できる

○資料に気軽に書き込みができるので、児童の気付きにつながりやすい。

▲つけたい力をつけるために、資料の精選が必要。「自由にタブレットを利用して調べる」ではつけたい力はない。教師側がある程度絞った中から児童が必要だと判断したものから